



United Nations  
Educational, Scientific and  
Cultural Organization



SAPPORO

City of Media Arts  
Designated UNESCO  
Creative City in 2013

不確かで、曖昧な、  
知らない未来を楽しもう。

# No Maps

SAPPORO CREATIVE CONVENTION

2020.10/14 WED - 18 SUN

IN SAPPORO, HOKKAIDO

**NoMaps2020**  
**開催報告** (メイン会期)

[no-maps.jp](http://no-maps.jp)

主催：NoMaps(ノーマップス)実行委員会

# I. NoMaps2020 開催概要

## (1) NoMaps とは？

**テクノロジーやアイデアで、未来の社会を切り拓く。  
そんな志を持つ人たちが、自ら目指す最高峰に挑むために  
集い交わるベースキャンプ、それが“NoMaps”です。**

NoMapsは、札幌・北海道という象徴的な開拓の地で、クリエイティブな発想や技術によって次の社会を創ろうとする“現代的フロンティアスピリット”を持った人たちのためのコンベンション（人、情報、知識、物などの交流の場）です。

NoMapsに集った人々はもちろん、この地で暮らす人々のクリエイティビティも高め、地図にまだ描かれていない新たな領域を、札幌・北海道から切り拓いていこうとするものです。

先端テクノロジーや斬新なアイデアを核とした「新しい価値観/文化/社会の姿」を提案するビジネスコンテンツをテーマに、「会議（Conference）」「展示（Exhibition）」「興行（Event）」「交流（Meet-up）」「実験（Experiment）」の5つの事業によって、新たなビジネスを生み出し、加速させるための場を提供していきます。

“NoMaps” – 名称の由来

アメリカのSF作家、ウィリアム・ギブスンを追った同名のドキュメンタリー映画にちなんで命名。「地図なき領域を開拓する」という思いを込めています。



**NoMapsは、様々な取組を通じて、  
「新たなビジネスを生み出し、加速させる」  
ための場を提供していきます。**

2016年にプレ開催、2017年から本格開催をスタート。

**2020年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、これまで主要事業としてきたカンファレンスと映画祭をオンラインで実施することを軸に、三密を避け会場への集客を伴うイベントを極力行わない形で実施することとなった。**

## (2) NoMaps2020 開催概要

【開催日】 メイン会期 2020年10月14日(水)～18日(日)  
※札幌国際短編映画祭のオンライン配信は10月10日(土)～31日(土)  
 全会期 2020年4月1日(水)～2021年3月31日(水)

【開催場所】 オンライン配信を軸に、一部札幌市内中心部会場で実施

【事業目的】  
 ○クリエイティブ産業の活性化と他産業への波及  
 ○創業支援・新産業の創造・投資の促進  
 ○クリエイティブな市民文化の醸成  
 ○札幌・北海道の国際的知名度・魅力の向上  
 ○「世界屈指のイノベーターなまちSAPPORO」の実現

【主催】 NoMaps実行委員会

【WEB/SNS】 ウェブサイト <https://no-maps.jp>  
 Twitterアカウント @no\_maps  
 Facebookページ <http://www.fb.com/NoMaps.jp>

【実施状況】



## Ⅱ. NoMaps2020 開催結果

### (1) 実施事業数・参加者数等

【総事業数】 **104** 事業

【参加者総数】 例年と異なりオンライン配信系の事業が多く、事業によっては、リアルタイムでの視聴数の他にアーカイブの視聴数やSNS上での一時的な再生回数などを含むことから、全体での集計は見送り、区分および事業単位での整理とした。

【Conference】 57セッション 最大視聴者数合計 **6,344人** 延べ再生回数10,000回以上

【Exhibition】 2事業 来場者数 **1,914人**

【Event】 <短編映画祭> 42事業 オンデマンド配信再生回数 **31,833回**  
オンラインライブ配信再生回数 **25,710回**  
リアル上映会 参加者数 **174人**

<SYNCHRONICITY 2020> 参加者数 **4,160人**

【Meet-up】 2事業 参加者数 **90人** 【Experiment】 単独での事業はなし

【参考】 NoMaps2019 メイン会期総来場者数 23,611人

### (2) 事業区分毎の主な事業



オープニングトーク①/市民生活とテクノロジーの調和/beyond～2020年のその先へ/北から未来を照らす起業家たちの今～/NoMaps Dream Pitch”2020 ピッチコンテスト プレイベント/札幌証券取引所70周年記念 未来の社会をデザインしたAIの活用～AIで北海道を活性化する～/いま必要な「働くための空間」を考える～オフィスの役割と会社の質的变化～/NoMaps×STARTUP CITY SAPPORO 「宇宙ビジネスのNoMaps -民間リードの産業創生への挑戦」-/北海道大学 数理・データサイエンス教育研究センター「ニトリみらい社会デザイン講座」Presents データサイエンス教育のフロンティア/韓国のICTを活用した新型コロナウイルス対策とwithコロナにおけるAIの活用/ブロックチェーンを活用した地域の未来//6人の“開拓者”が語るそれぞれの北海道/NoMapsEDU これから求められる新しい小学校教育とは?/トップキャピタリストが考える、スタートアップが成長・IPOするための条件/オープニングトーク② /North Food Summit supported by ACT NOW～製造・販売・流通セッション/ローカルの未来に賭ける金融機関の共創活動/North Food Summit supported by ACT NOW～生産セッション/地方発スタートアップの課題と可能性/North Food Summit supported by ACT NOW～外食セッション/自社の事業や組織変革のヒントに！シリコンバレーのトレンド爆速解説！/働き方セッション/メーカから地方への“働き方シフト”のデザイン～個人、企業、そしてまち～/NoMaps Agritech Summit - 農業×テクノロジーの可能性 -/働き方セッション リモートワーク時代のディレクター・リーダーの仕事術/Domingo & NoMaps釧路・根室 presents ローカルメディアの役割と可能性 発信したい情報は地域と一緒に作る～北海道発の最新事例/NoMaps メディアアーツ・ミートアップ 2020 SIAFラボ×NoMaps: 札幌「メディアアーツ」の課題と可能性/Open Network Lab HOKKAIDO -卒業スタートアップによるリアルボイス-/海外教育トーク！ 中国・北欧の教育のリアルを知る！/オープニングトーク③/“スタジアム”の先にある未来～北海道ボールパーク、その構想の今とこれから～/ロシアビジネスセミナー～ITの都シベリアから広がるビジネスチャンス～/ニューNoMapsを考える。オンライン落書きコミュニケーションに挑戦。/札幌“インサイドセールス”拠点構想/DXはなぜ必要なのか。/北海道はMaaSの先進地になれるのか？キープレイヤーが語る、MaaSの未来とは！/働き方セッション 好きな場所で働き、好きな場所で暮らすという生き方/Citizen Riiiver presents コーポレートベンチャリングサミット～組織の中からグローバルに広がるプロダクトを生み出す方法～/HMCC Award 2020/STARSセッション～先輩起業家が語る「しくじり」から学ぼう～/発信から共創へ：ローカルテレビ局の苦悩と挑戦/オンライン教育の限界と、それを越えていくオフラインの学びの場づくりとは！?/NoMapsEDU 大学生インタビュー！新しい時代の学校の価値はどうRedesignされるか？/NoMaps北海道未踏 キックオフだよ！全員集合～卓越したIT人材のエコシステムを北海道に創る～/高校生・大学生が語る、ぶっちゃけオンライン授業のここがへん！/サイバーセキュリティ オンライン・カンファレンス in NoMaps「Digital World beyond Pandemics」/NoMapsEDU 学校改革の中心地は高校の普通科！注目の「探究の授業」とは？！/まちに、街を、インストール パートⅢ～エンタメと都市の新しい関係～/働き方セッション/学生と「働く」「仕事」「キャリア」を考える/NHK北海道コラボ企画/高校生が参加するラジオ番組「ハッシュタグラジオ」/コミュニティ思考ワークショップ～不確実な時代な時代をポジティブに生きる自分に近づく120分/北海道で起業を知る・学ぶ・話す「Startup Day」/creative round table「先輩クリエイターに学ぶ、続けるための生き方と考え方」/バーチャルキャストが創り出す 教育×VRの未来/北の大地からRPAを！IT活用で業務自動化/『Books for Change～ごきげんアイスが生まれるまで～』/NoMaps2020クローニングトーク



Touch the NEW Square/  
知る・観る・学ぶ！北  
海道のアートパーク～北  
の大地と生命の物語～



第15回札幌国際  
短編映画祭 (42  
プログラム)  
/SYNCHRONICITY  
2020



NoMaps2020 オフィシャル  
ミートアップ at Ovice (オ  
ヴィス) /NoMaps EDU 大  
振り返りオンライン飲み会



取り巻く環境が目まぐるしく変わり、先の予測が難しい時代。だからこそ私たちは様々な知見やアイデアを学びながら変化に適応し、行動に移していく必要があります。NoMaps カンファレンスでは、新しい技術・サービス・アイデアで道なき道を切り拓く多様なゲストを招き、世界に展開するビジネスから、地方創生を目指したクリエイティブな取組まで、多様なテーマのカンファレンスを集中的に開催しました。

### 【実施概要】

- 関連事業数 57事業（うち共催20事業、連携9事業）
- 参加者数 最大視聴者数合計 6,344人 延べ再生回数10,000回以上

## ■NoMaps カンファレンス 2020

初のオンラインを主軸とした開催となるカンファレンスは、道内外から新しい社会を創るイノベーターに多数登壇いただき、講演・ディスカッションともに充実した内容となりました。

### 【主なテーマ】

#シビックテック #AI #データサイエンス #ブロックチェーン #食産業 #サプライチェーン #働き方 #リモートワーク #ワーケーション #メディアアーツ #スポーツ #地方創生 #オープンイノベーション #ローカルメディア #IT人材育成 #サイバーセキュリティ #スタートアップ #宇宙ビジネス #ICT #IPO #ローカルファンド #アグリテック #DX #インサイドセールス #Maas #ロシアビジネス #学校教育 #オンライン教育 #EDTECH #クリエイティブ #RPA 等



収録配信（左上）、会場から生配信（右上）、オンライン生配信（左下）、オンサイト開催（右下）と、多様な手法でセッションを展開しました。

## II. NoMaps2020開催結果



第15回の節目となる札幌国際短編映画祭をオンライン配信をメインに実施。世界中から多くの方に視聴してもらうことができた。

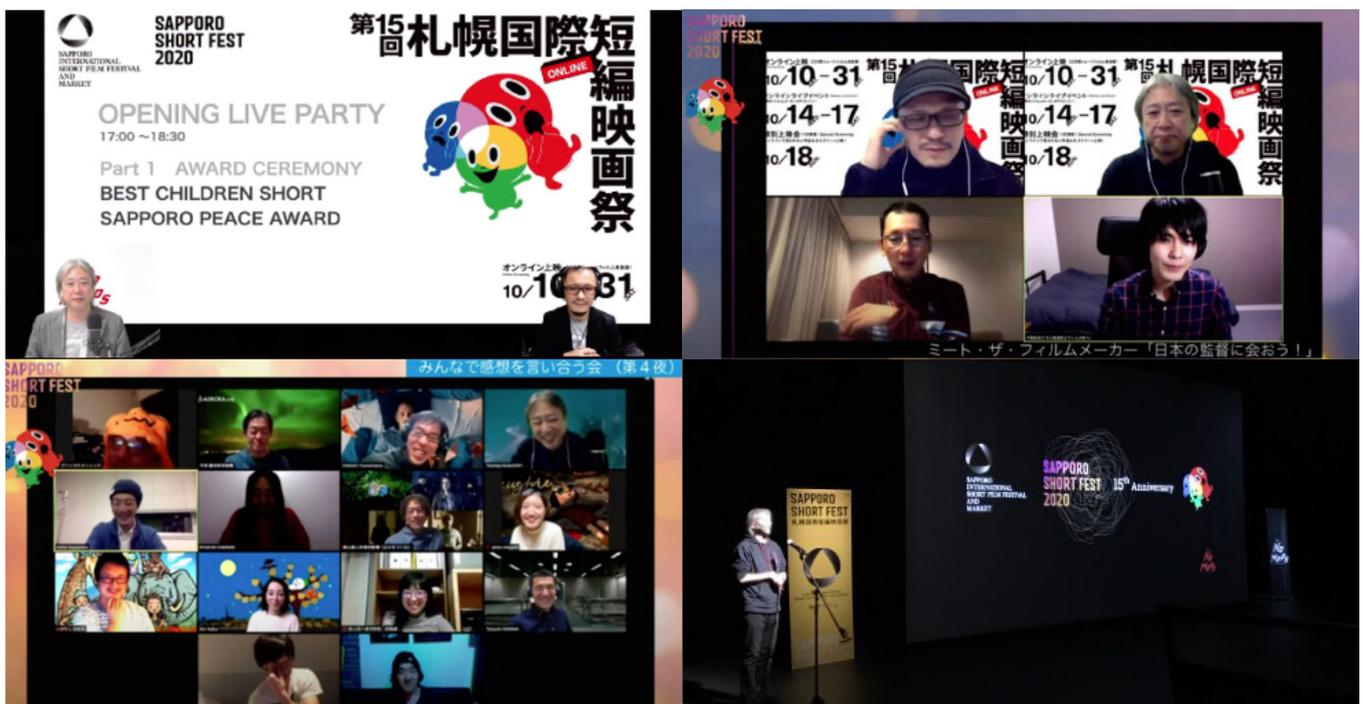
また、2020年のコロナ禍における新しい実験的なコンテンツ体験として「SYNCHRONICITY 2020」を実施。

### 【実施概要】

- 事業数 43事業（うちオフサイトイベント1件）
- 映画祭オンライン配信 総視聴合計数 57,453回 オンサイトイベント来場者数 174人
- SYNCHRONICITY 2020 参加者数 4,160人

### ■ 第15回札幌国際短編映画祭

過去最多となる応募総数3,873作品の中から厳選したショートフィルムの上映のほか、北海道の映像プロダクションが制作した作品や、北海道出身の監督が手がけた作品を集めた「北海道セレクション」、新設された日本初公開作品対象の「ジャパン・プレミア部門」など、延べ104作品のオンデマンド配信を実施しました。また、平行してオンラインライブイベントを多数開催。映画の見どころ解説や、審査員や監督を招いてのトークセッションなど多彩な事業を展開しました。さらには、アワードプログラムを中心に、オンサイトでのリアル上映会も感染対策をしっかりとした上で開催しました。



### ■ SYNCHRONICITY 2020

ユーザーのスマートフォンから流れる音楽と、光などの街そのものに仕込まれた演出が同期する、2020年のコロナ禍における新しいコンテンツ体験として、街と音楽がシンクロするイベント「SYNCHRONICITY 2020」を開催しました。

※実証実験を兼ねて実施。





オンライン開催が主軸でリアルな展示が少なかったが、北海道科学大学によるSXS2020で選出されていた研究成果展示が行われたほか、北海道庁と北海道大学CoSTEPによる政策アイデア「ジオパークの魅力を“科学”する官と学の共創スキーム」によるVR展示が行われるなど、見応えのあるものとなった。

【実施概要】

○出展団体数 3社・団体 ○来場者数 1,914人

■ NoMaps Touch the NEW Square

先端技術や新しいサービス等を多くの市民に知ってもらう、体感してもらう場として開催。

【出展企業・団体】

北海道科学大学  
RISINGSUN ROCK  
FESTIVAL

■ 知る！観る！学ぶ！  
北海道のジオパーク展

北海道大学の学生と道職員の若手で制作したVR動画「バーチャル登山！ユネスコ世界ジオパーク“アポイ岳”」を初披露する展示を行った。

【出展団体】

北海道庁&北海道大学CoSTEP



コロナウィルス感染症拡大防止のため、オフサイトでの交流会開催が難しかったため、実験的な試みとしてオンラインコミュニケーションを円滑にするサービス「Ovice」を活用したバーチャルラウンジを設置し、参加者間の交流を測りました。

【実施概要】

○事業数 2事業 ○参加者数 90人

■ NoMaps2020 オフィシャルミートアップ at Ovice  
■ NoMaps EDU 大振り返りオンライン飲み会

バーチャルスペース『Ovice』を活用し、オンライン上にラウンジを設置。会期中、常時開放するとともに、ミートアップイベントを平日3日間、カンファレンスセッション終了後に開催した。  
また、最終日にはNoMaps EDUの振り返りを兼ねたオンライン交流会も実施した。



**NoMaps2020で開催したセッション等の  
レポートを随時公開中！**

**NoMaps公式ホームページの  
「トピックス&レポート」をCHECK!!**



**【問合せ先】**

---

**NoMaps実行委員会**（担当：事務局・廣瀬）

〒003-0005  
札幌市白石区東札幌5条1丁目1-1  
インタークロス・クリエイティブ・センター 2FH  
TEL 011-812-2000 FAX 011-812-2001  
E-mail info@no-maps.jp URL <https://no-maps.jp>